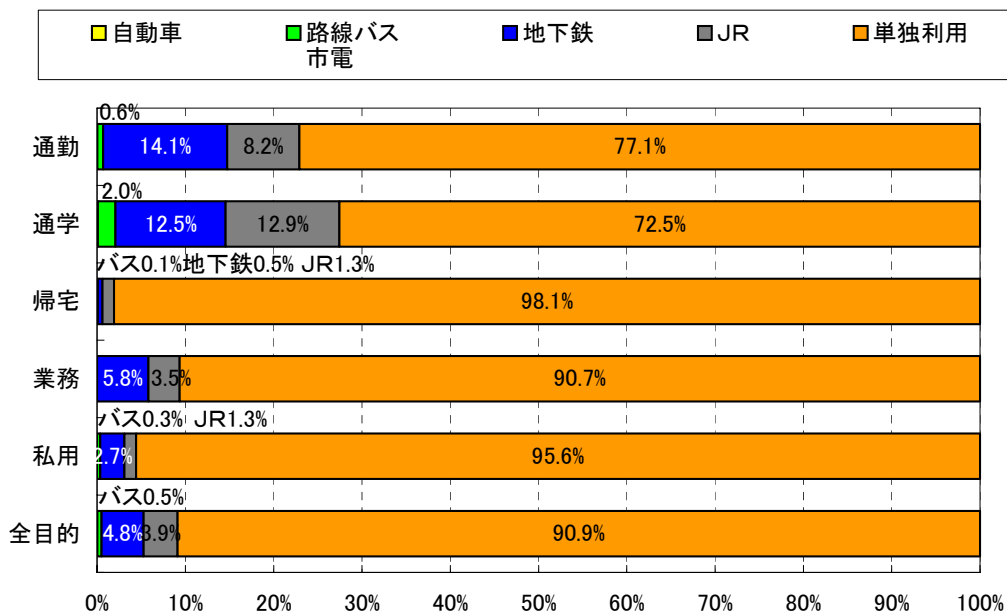


2-2-6 自転車

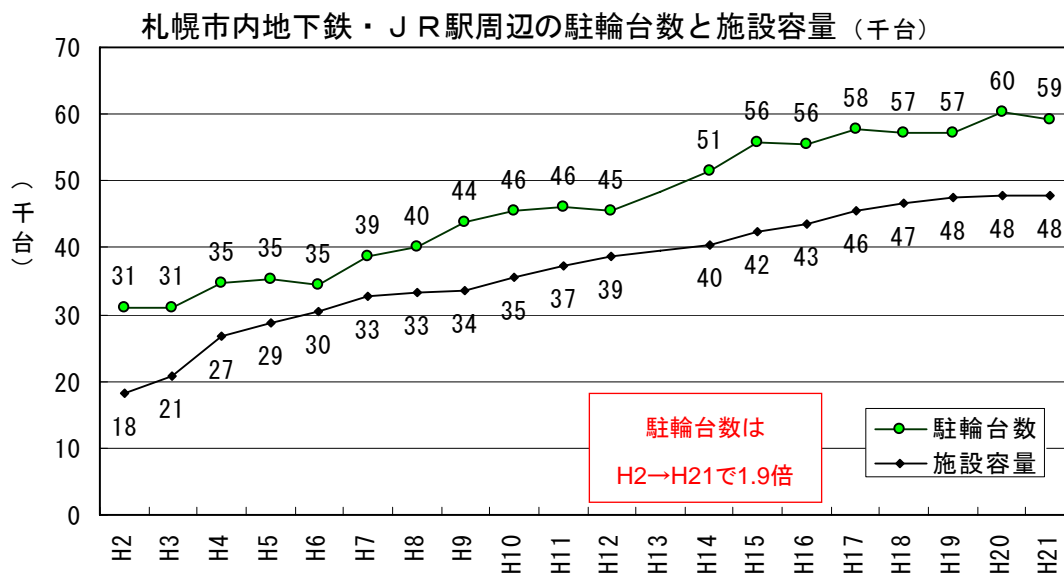
◇ 都心部や駅周辺における自転車が增加し、駐輪場不足が課題。

- ・ 自転車は、都心部や駅周辺における交通手段として増加傾向です。(前述)
- ・ 通勤、通学では、自転車利用後に地下鉄、JRに乗り継ぐ需要が25%前後見られます。
- ・ 都心部への乗り入れ、あるいは駅で乗り継ぐ自転車が増加するなか、駐輪場が不足している状況にあります。



資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

図2-84 目的別自転車利用後手段の構成比（札幌市内着自転車集計）



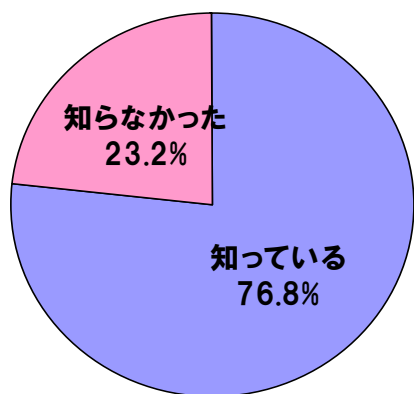
資料：札幌の都市交通データブック 2010

図2-85 駅周辺での駐輪台数と駐輪場整備状況

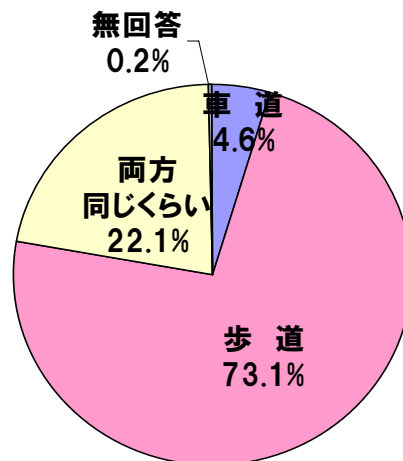
◇ 自転車の車道走行ルールを知っていても、危険の不安から歩道を走行。

- ・ 自転車は車道の左側通行が原則であることを認識しているものの、車道では自動車との交錯の危険を感じるため、歩道を走行している利用者が多い状況です。

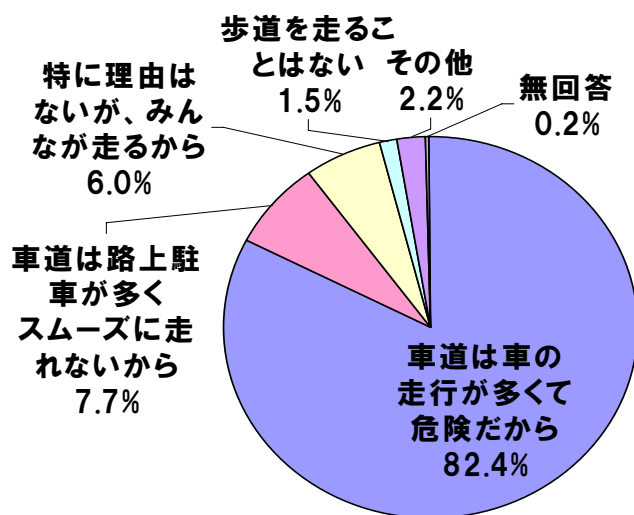
Q. 自転車は原則、車道の左側を通行しなければならないことについて



Q. 普段、自転車を走行している位置



Q. 歩道を走行する理由



資料：2007年度札幌市市政世論調査

図 2-86 市民の自転車利用の現状

◇ 歩行者・自転車と自動車の事故や、歩行者と自転車の接触の問題がある。

- ・ 交通事故死者は、人対車両事故によるものが 50%、自転車×車両事故によるものが 12%を占めています。
- ・ 事故数として顕在化していませんが、歩行者と自転車の接触事故も課題となっています。

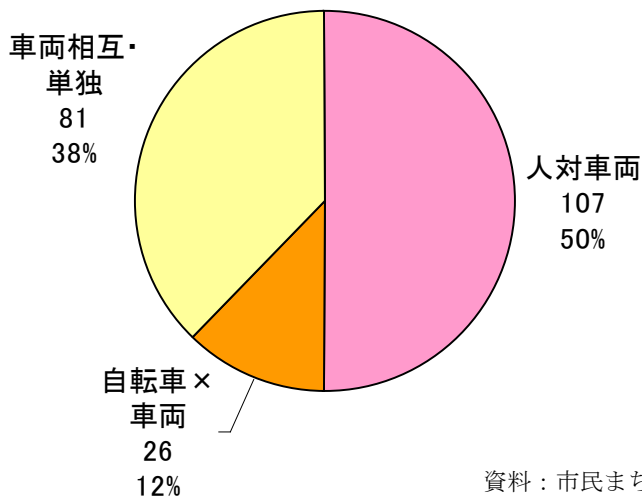
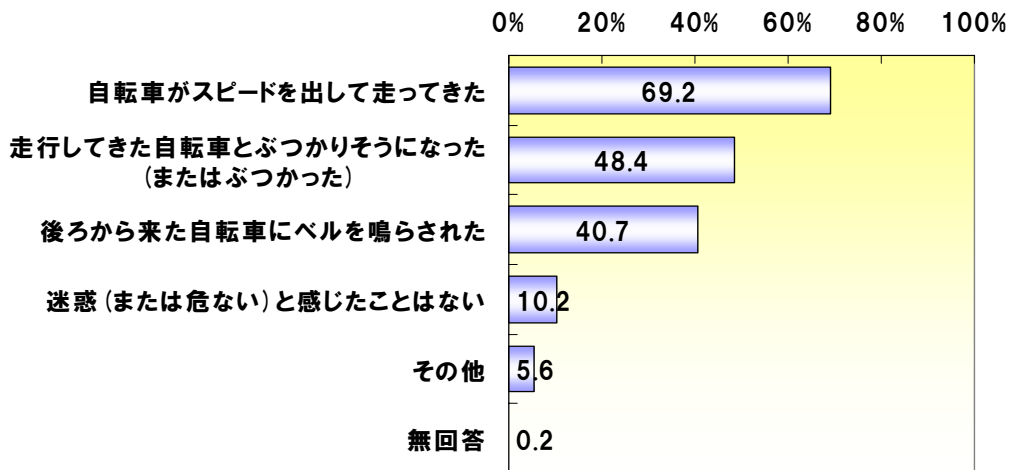


図 2-87 交通事故死者の事故類型構成比 ～過去 5 年間（2004～2008 年）

あなたが歩道を歩いていて、走行する自転車を迷惑（または危ない）と感じたことがありますか。（複数回答可）



資料：2007 年度札幌市市政世論調査

図 2-88 自転車に迷惑または危険を感じた経験の有無